



TITLE:

鏡としてのエージェント

AUTHOR(S):

大本, 義正

CITATION:

大本, 義正. 鏡としてのエージェント. 京都大学アカデミックデイ2018: 研究者と立ち話 (ポスター/展示) 2018: 29.

ISSUE DATE:

2018-09-22

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/234907>

RIGHT:

「人間」らしいHAIのデザイン

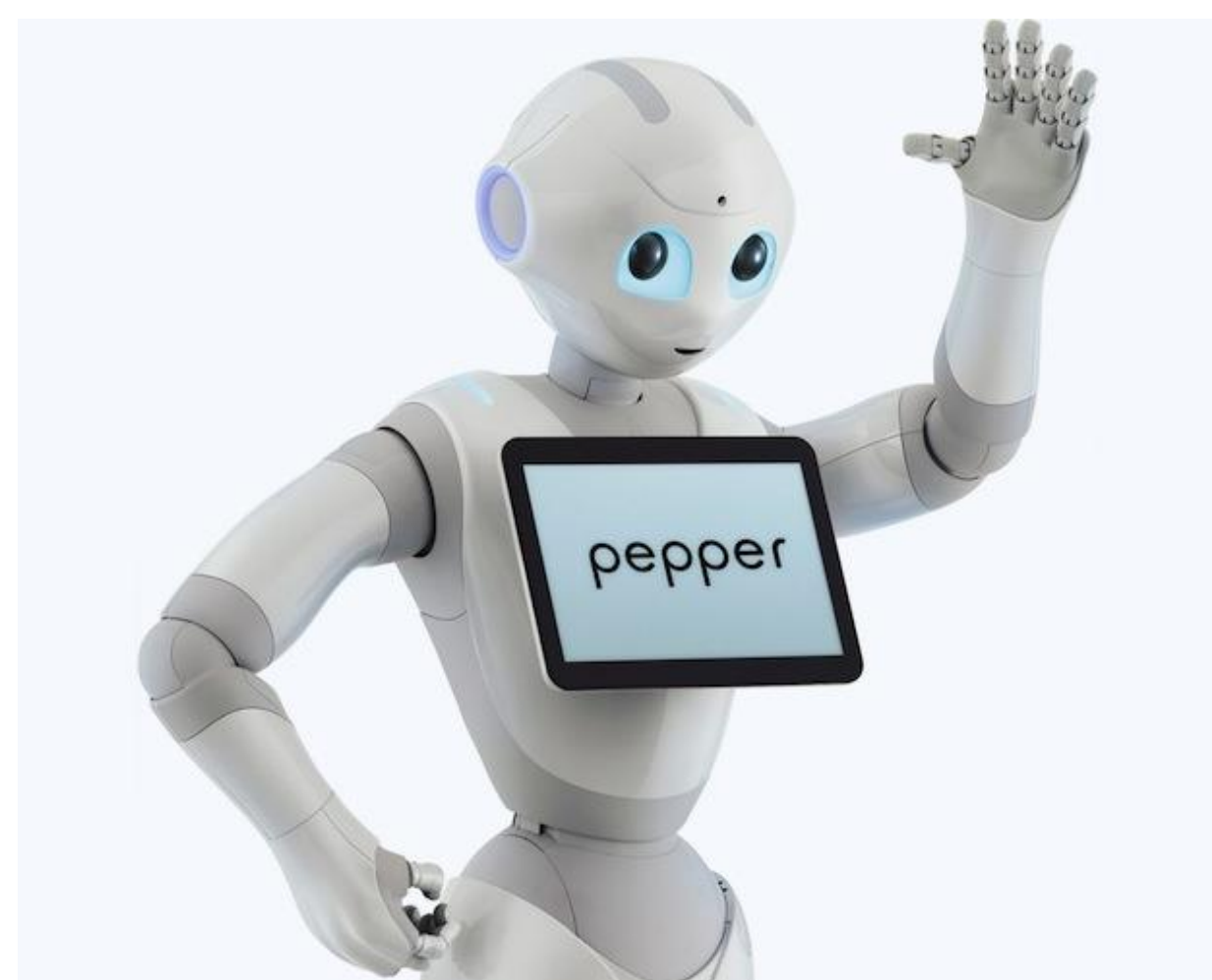
大本義正 西田研究室
京都大学 情報学研究科 知能情報学専攻

研究背景

そもそも、「人間」らしいとは？

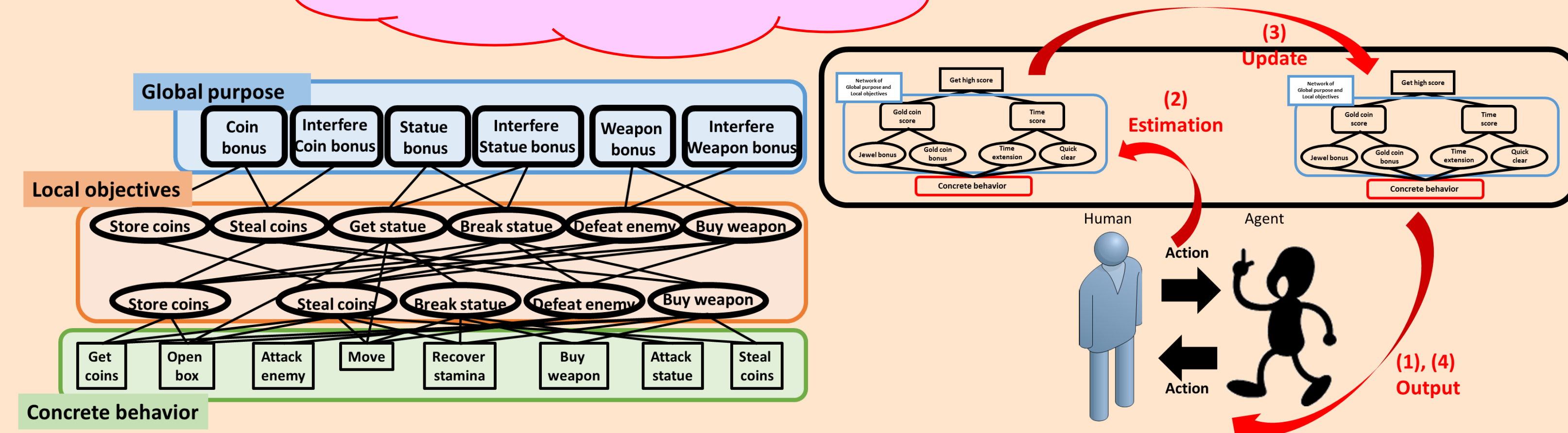
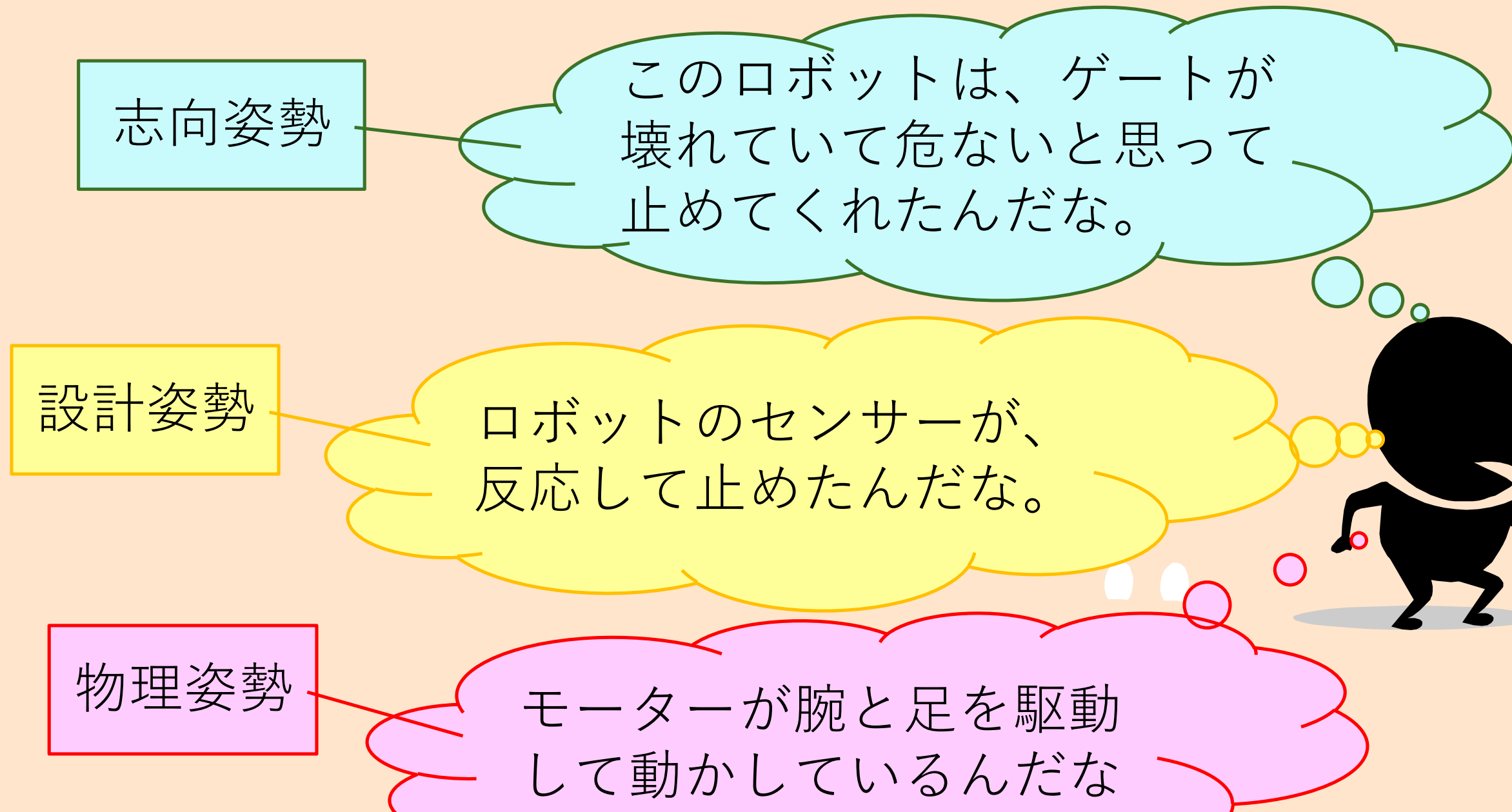
擬人化を考えてみる

- ・ 外見
必ずしも人間っぽくなくてもよい
- ・ 音声
イラストでも擬人化という
- ・ メッセージ（テキスト）
ピングーのような場合も十分に擬人化
- ・ 感情
これは微妙？
無表情でも擬人化という場合もある
- ・ 理解
相手が何でも勝手に擬人化することも
- ・ 意思疎通
つまり、**インタラクション！**



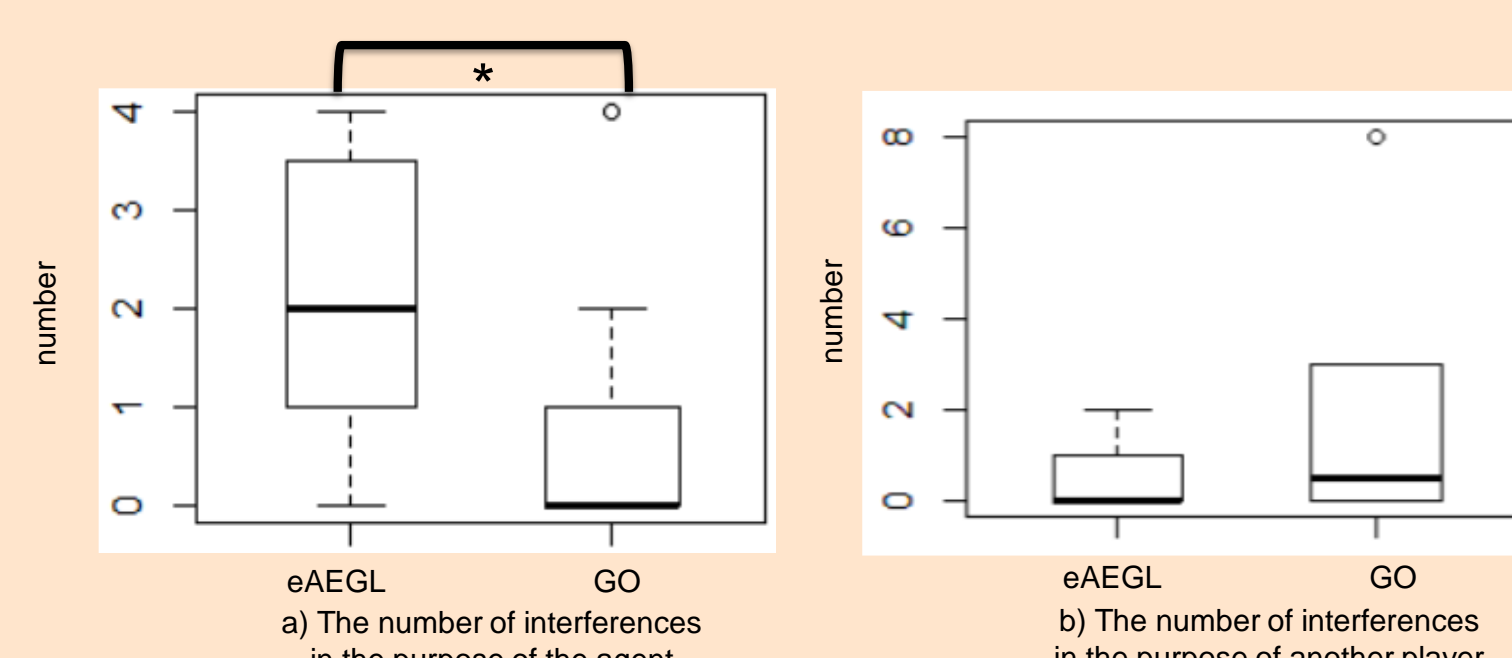
「人間」らしいインタラクション行動の表出

循環的な意図の更新が印象と行動に与える影響

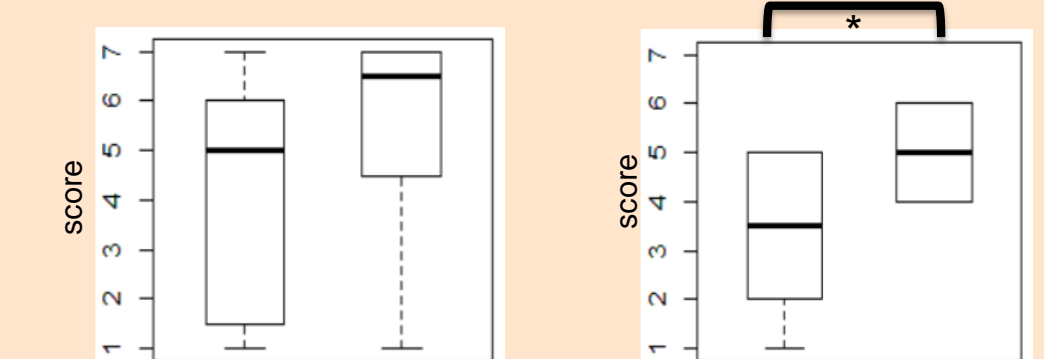


インタラクションの中で、自分の意図を「お互いに」協調的に作っていく
・ 作っていくプロセスが「人間」らしさ

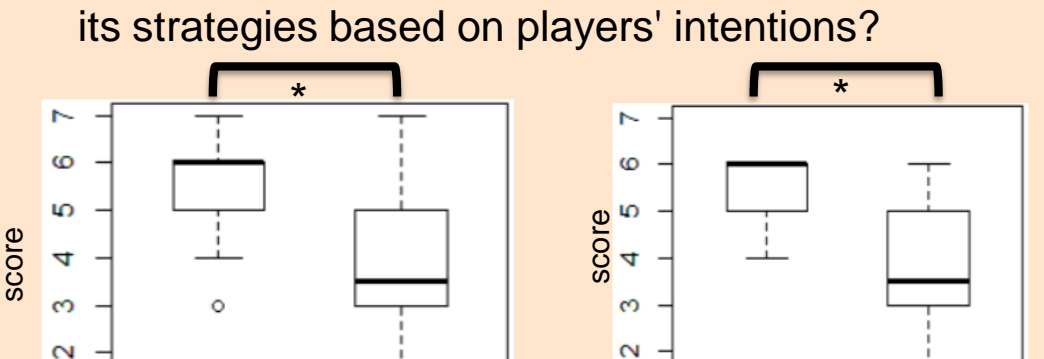
「機械的な」動作しかしなくとも妨害したり、視線を感じたりする
・ 「ちょっかいを出すこと」
・ 「意図を感じること」
→ 「人間」らしさ



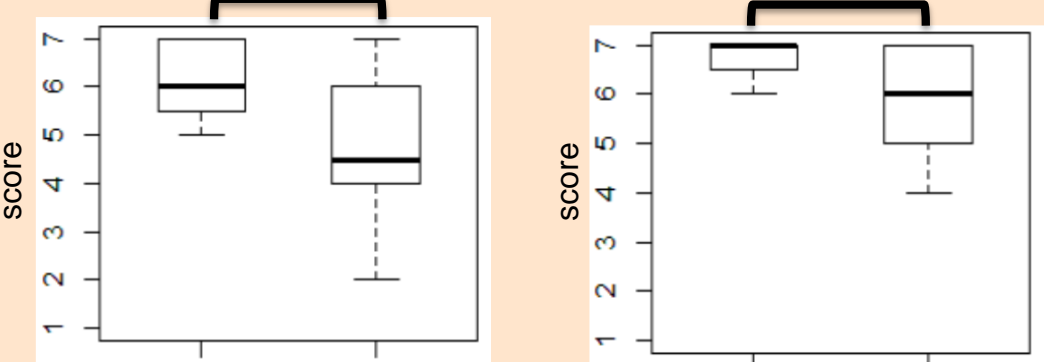
How carefully did the agent consider your intentions?



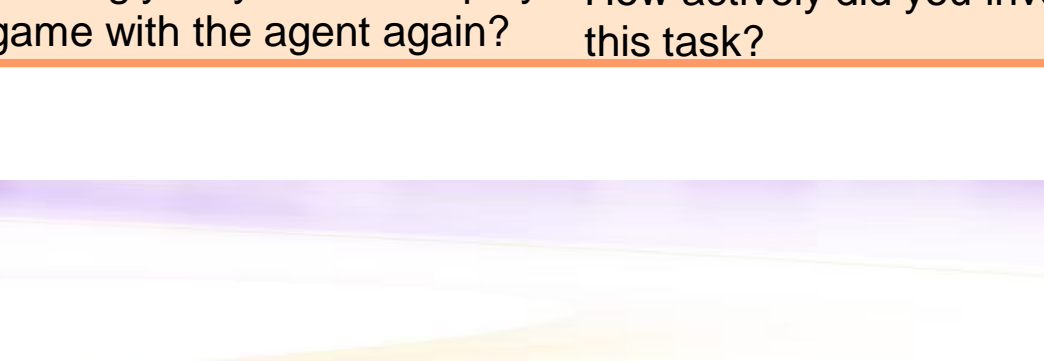
How strongly do you think that the agent considered its strategies based on players' intentions?



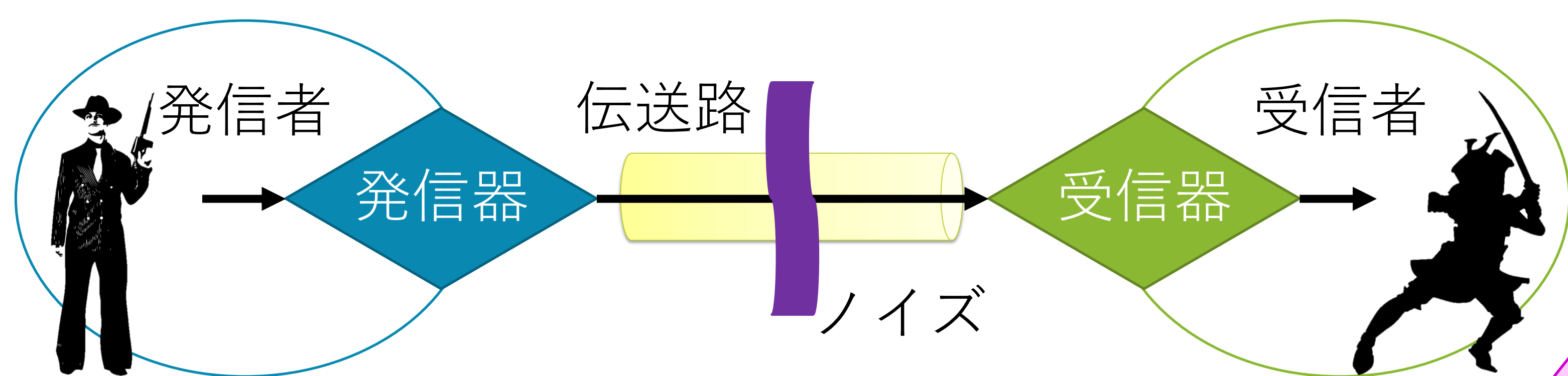
How strongly do you want to play the game with the agent again?



How actively did you involve this task?



展望

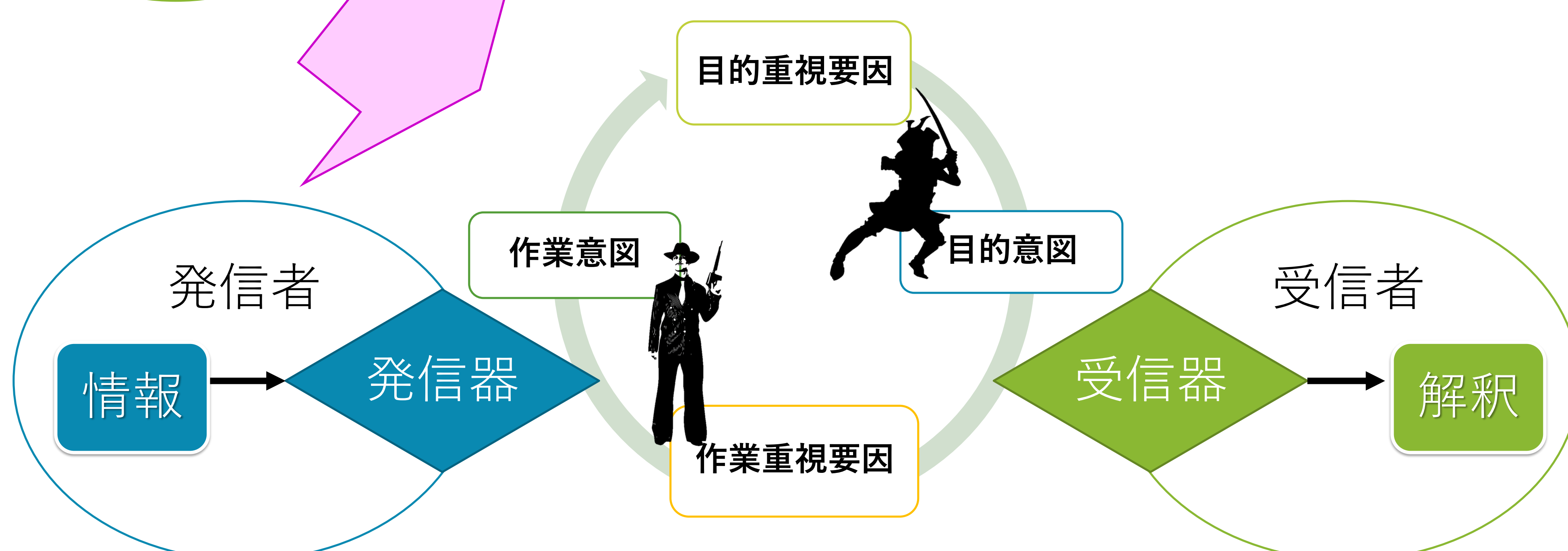


我々のリアルは頭の中にある
・ 頭の中に「しか」ない？
・ どこかにリアルが存在する？

自分の頭の中にあるとも限らない
・ 伝わる間に変化する
・ 変化したものを受け入れる

インタラクションの中で循環しながら「今」感じているリアルができてくる

「人間」らしさもインタラクションが作る



HAIに感じる「人間」らしさ

大本義正 西田研究室
京都大学 情報学研究科 知能情報学専攻

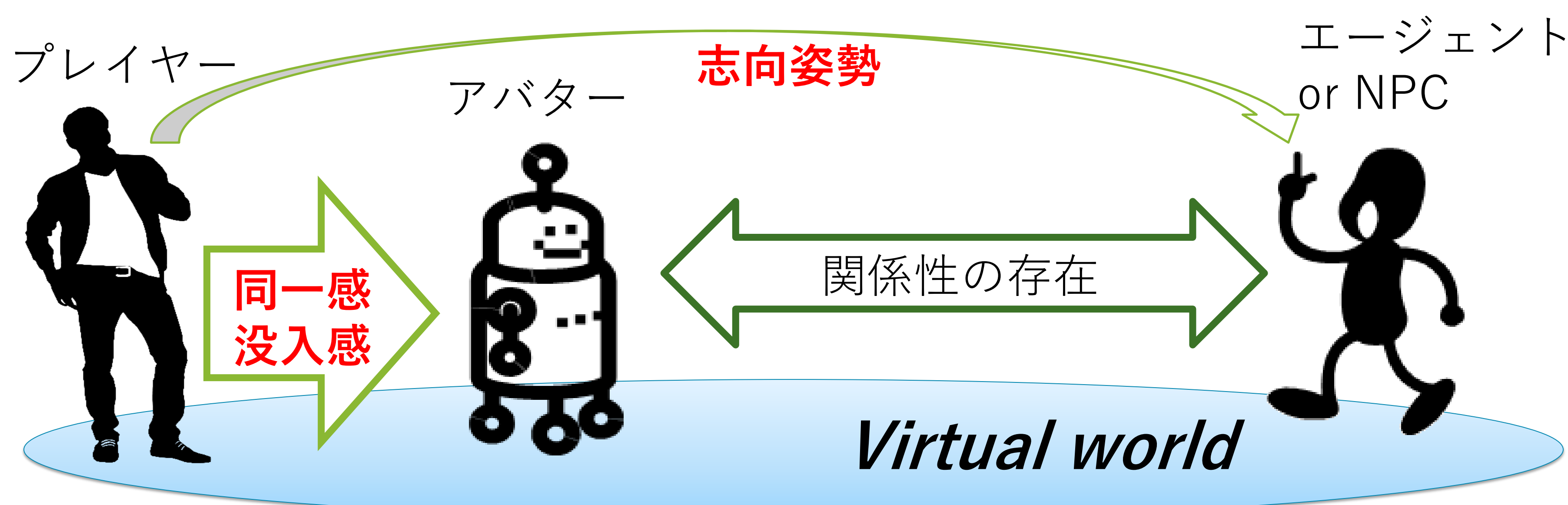
研究背景

- よくわからないものを理解するときに、最も身近な「人（自分）」に例えて理解する
- 多くの哲学者が言及するように、人間の認識の基礎は「自分」である
 - パスカル：「我々の尊厳のすべては、考えることのなかにある」
 - デカルト：「我思う故に我あり」
- 一方で、人間は「自分」では完結しないという考えもある
 - 感覚遮断実験
 - 監獄実験

「人間」らしさは他者との関わりによって生まれるのではないか

人間とエージェントの関係（HAI）には、それにふさわしい「人間」らしさがあるのではないか

HAIに感じる「人間」らしさとは何だろうか



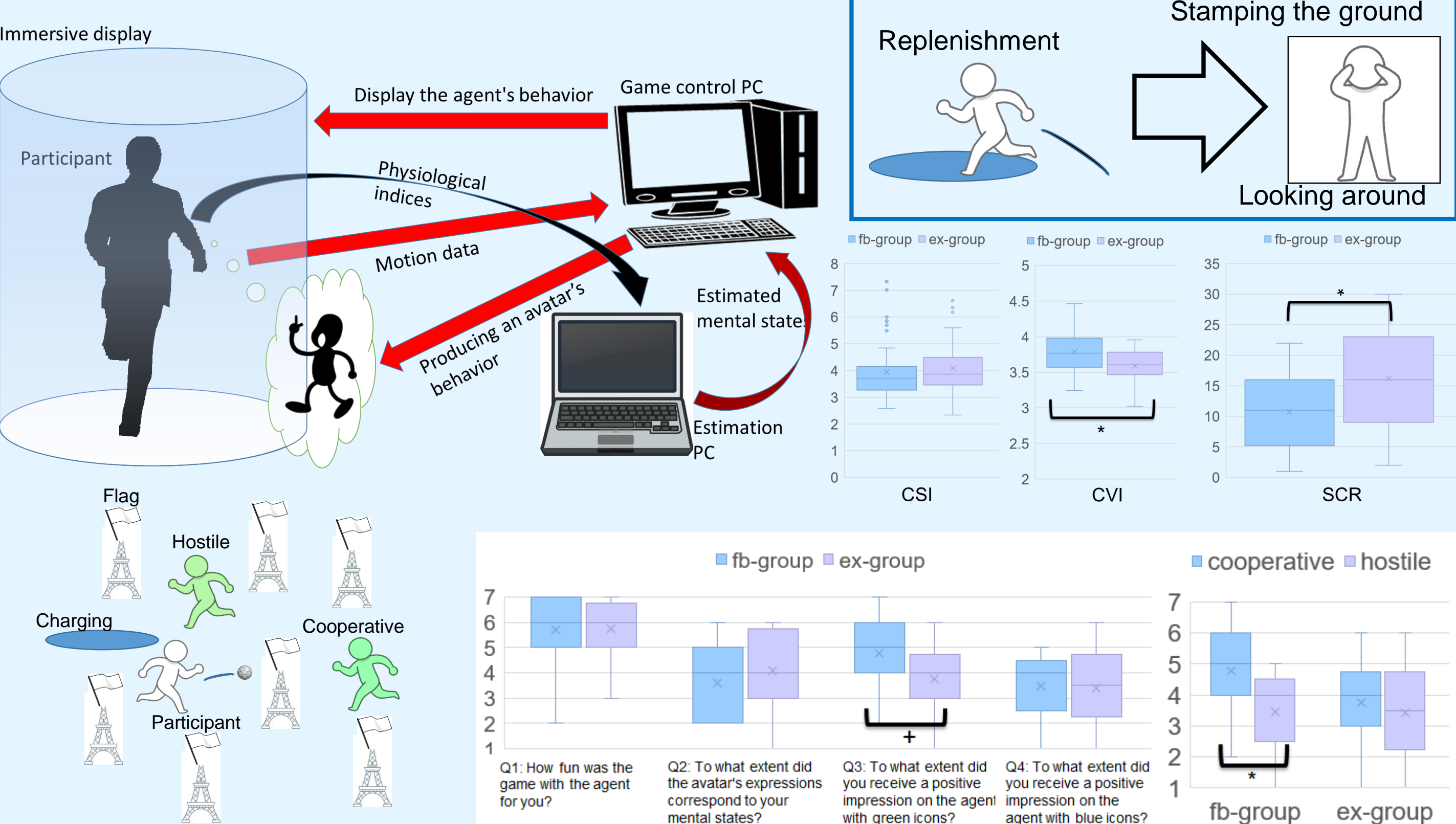
インタラクションを通じて感じる「人間」らしさ

アバターの振る舞いが印象と行動に与える影響

アバターの振る舞いに、操作者の心理状態を反映させた

- エージェントに性格を付与
- 操作者自身は文脈を知らない

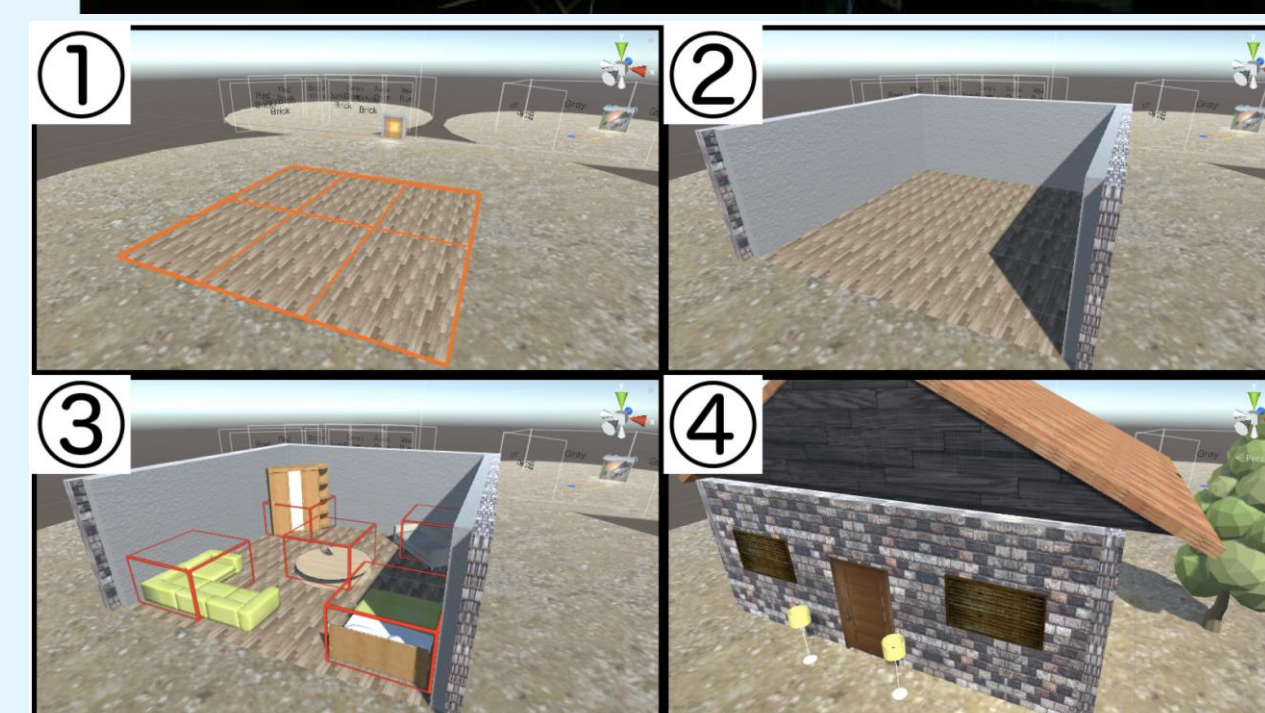
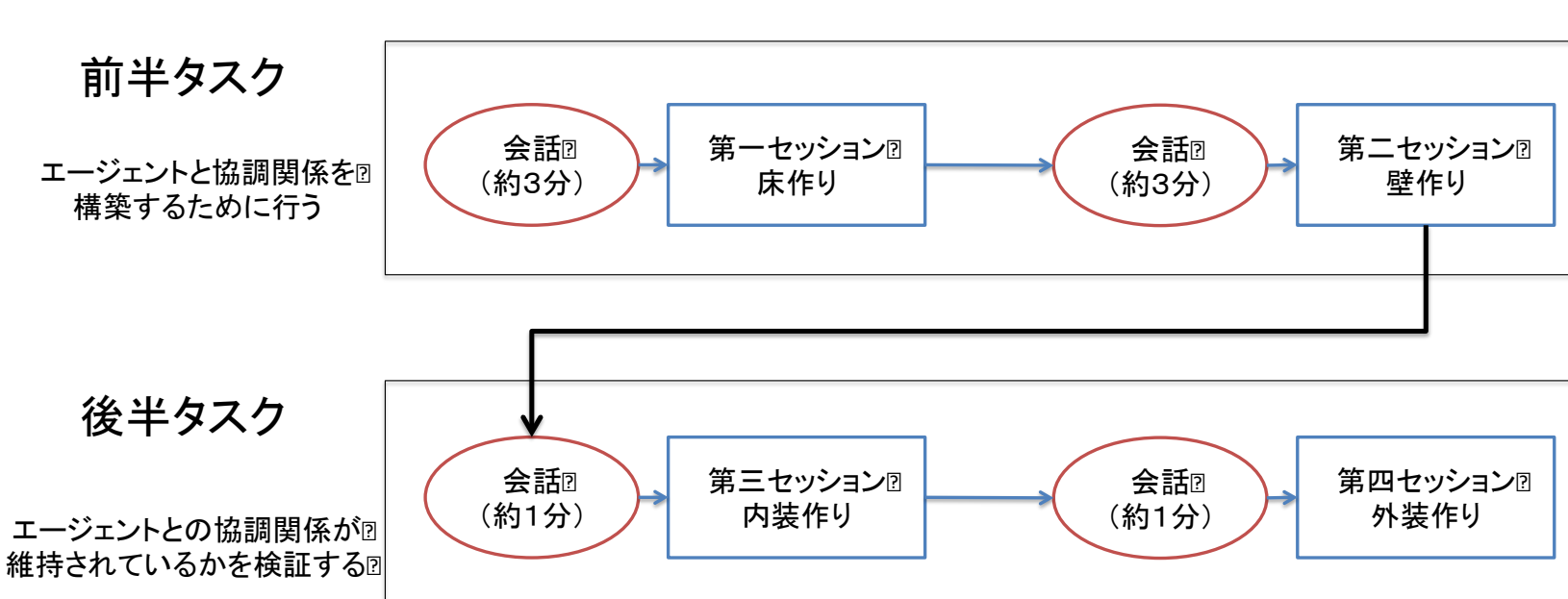
→ エージェント同士の関係を理解
我がことのように感じる



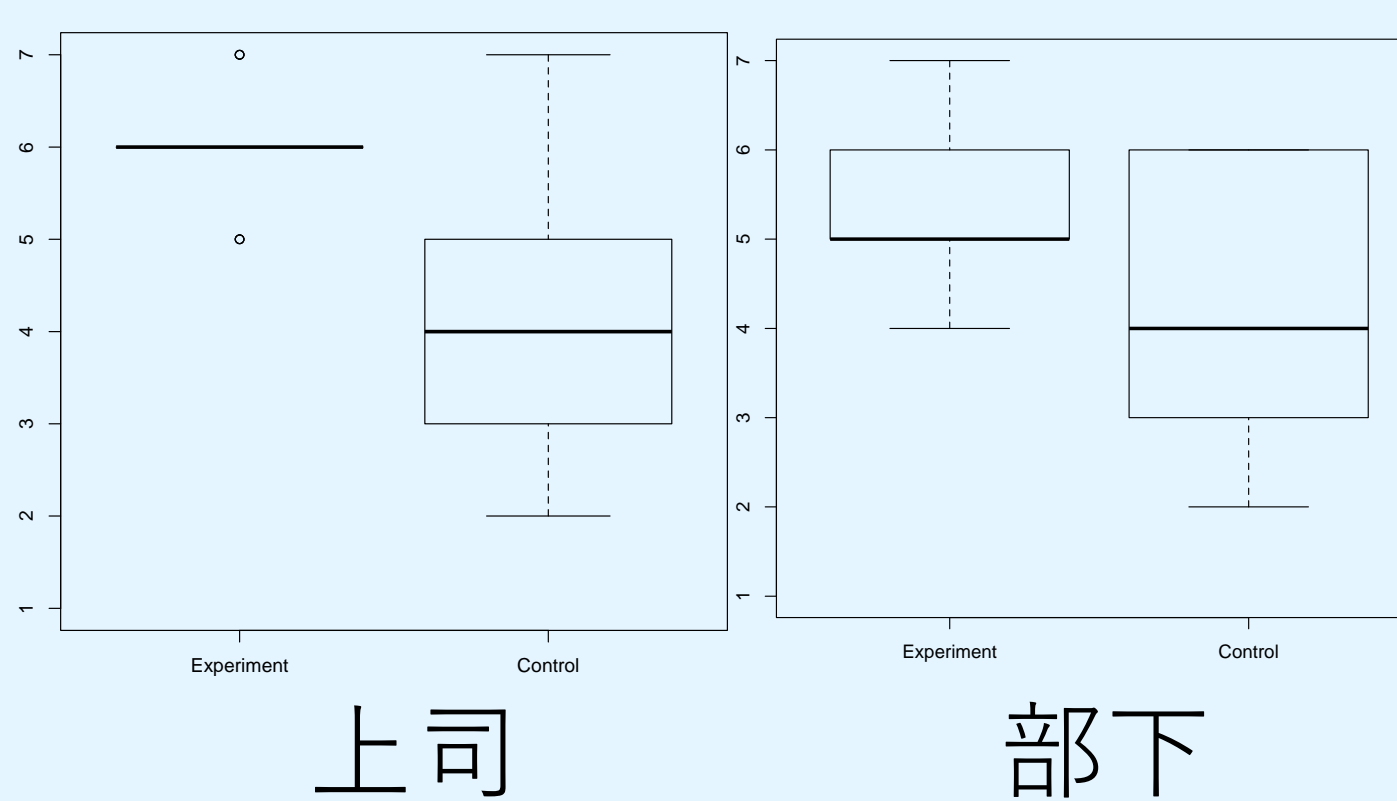
インタラクションの観察が印象と行動に与える影響

エージェント同士のインタラクションを観察させる場合と、人間とエージェントが直接インタラクションする場合を比較

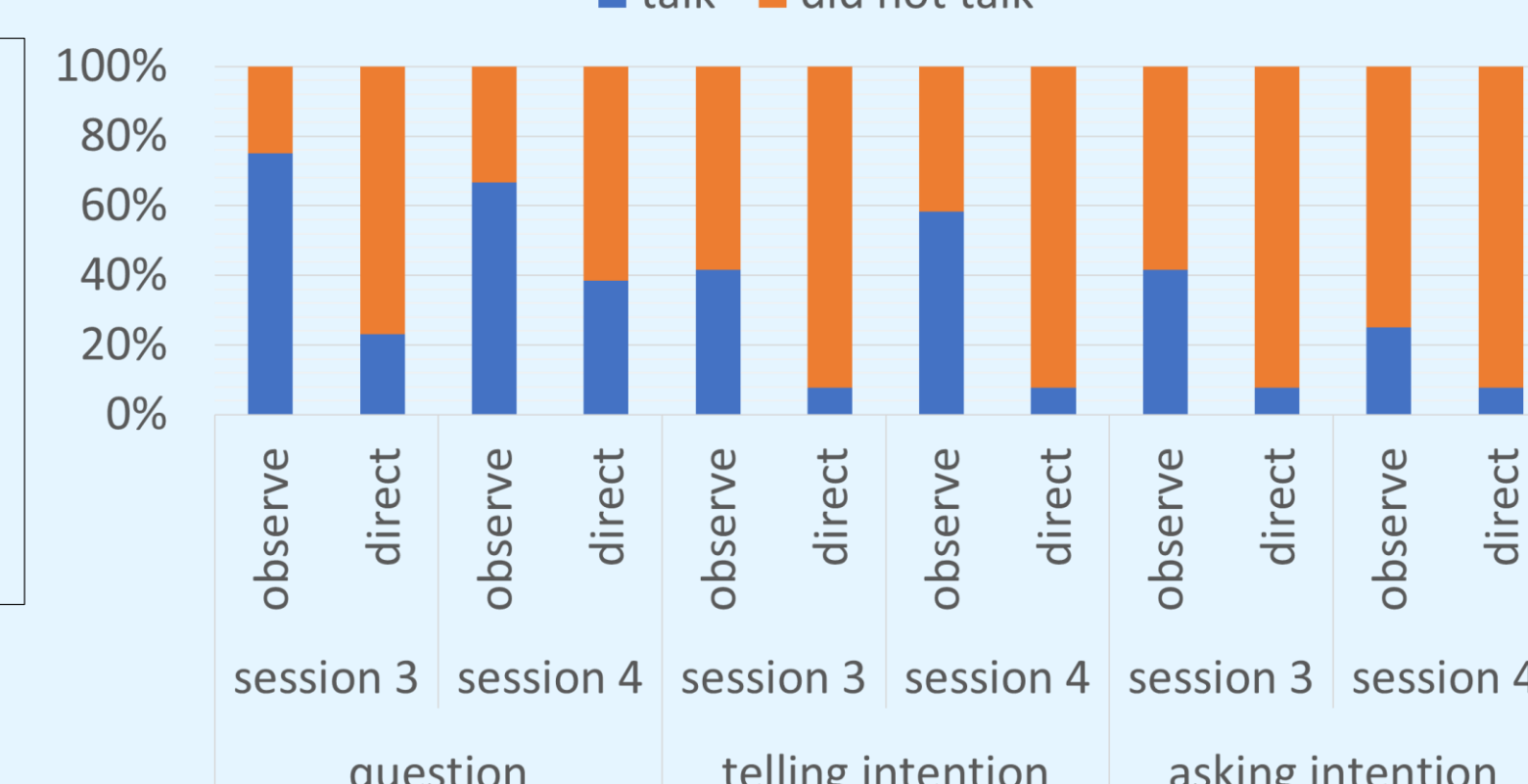
→ エージェントに対する印象と積極性が変化した



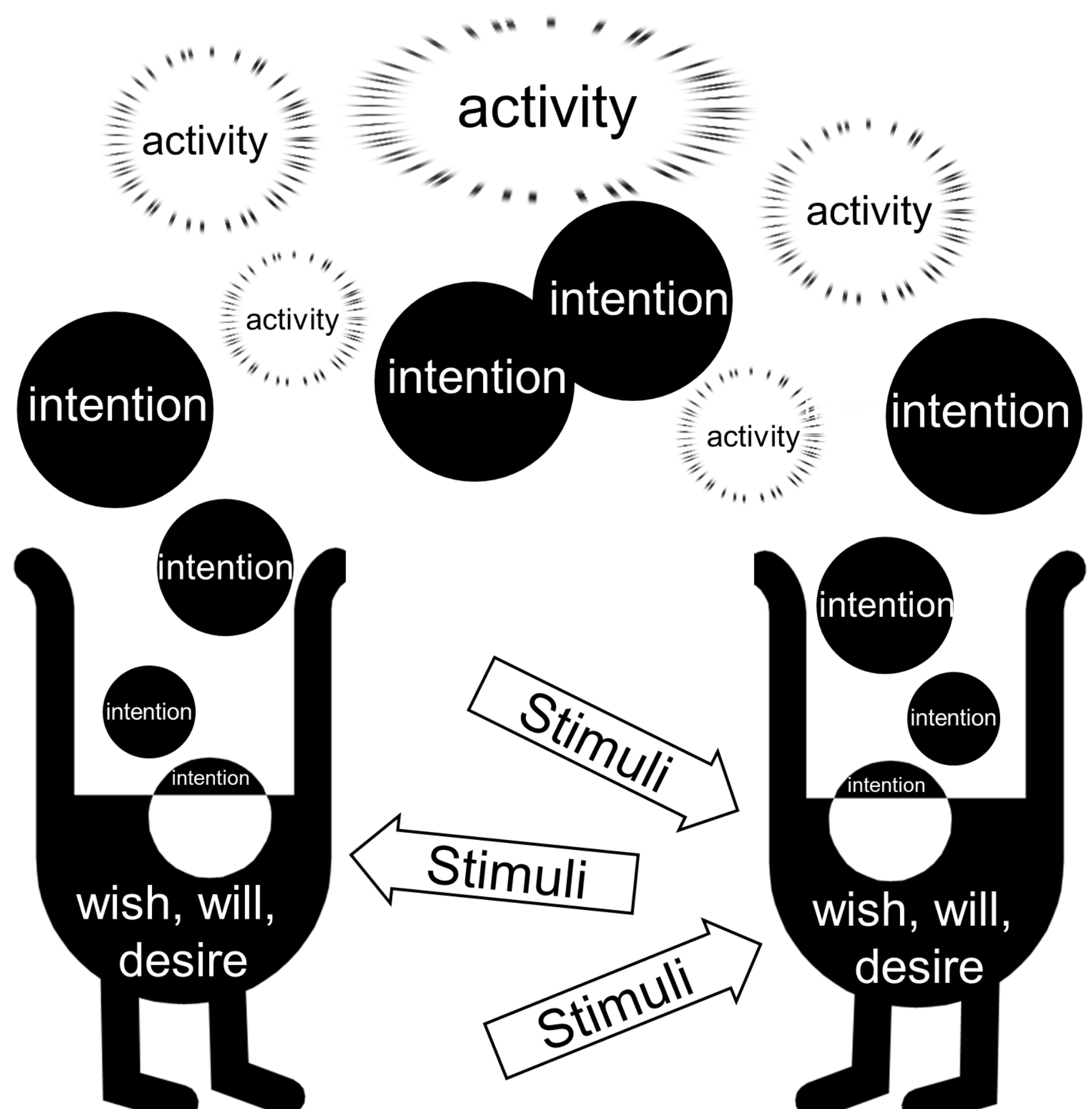
好感度



エージェントに話しかけた割合



展望



他人同士がインタラクションしている様子を見ることで、そこに存在する「らしさ」を人間は（暗黙的に）理解する

- 自分とのつながりがある程度明示する必要がある
 - 直接やりとりすると、逆に効果が下がる
- 最初にモデル（幻想）を作ることが大事

他者がいないと「自分」が成立しないことが結構ある

→ 「他人の振り見て我が振り直せ」はただの学習ではない！

重要なのは自分の中にしかないものを他人と共有しているという「感じ」
HAIの場面は特にこれが顕著なので、いつの間にか哲学的に